



謹賀新年

局長年頭あいさつ

新年明けましておめでとうございます。

近畿中国森林管理局長の山口琢磨です。

皆様方におかれましては新年を迎え、ますます御清祥のことと心よりお慶び申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス感染症の拡大は、国内外でかつて類を見ない様々な影響をもたらしました。林業・木材産業分野においても、木材需要の縮小や丸太価格の下落など多くの困難に直面することとなりましたが、市況の安定化を図りながら事業を継続する関係者の皆様の御協力に改めて感謝申し上げます。林野庁としましても、引き続き事業者等への支援策を講じてまいります。

さて、現在の我が国における森林の約4割を占める人工林は、約半数が主伐期を迎えようとしており、この資源を「伐って、使って、植える」という形で循環利用することを通じ、我が国の林業の成長産業化と森林の適切な管理を両立していくことが重要となっています。

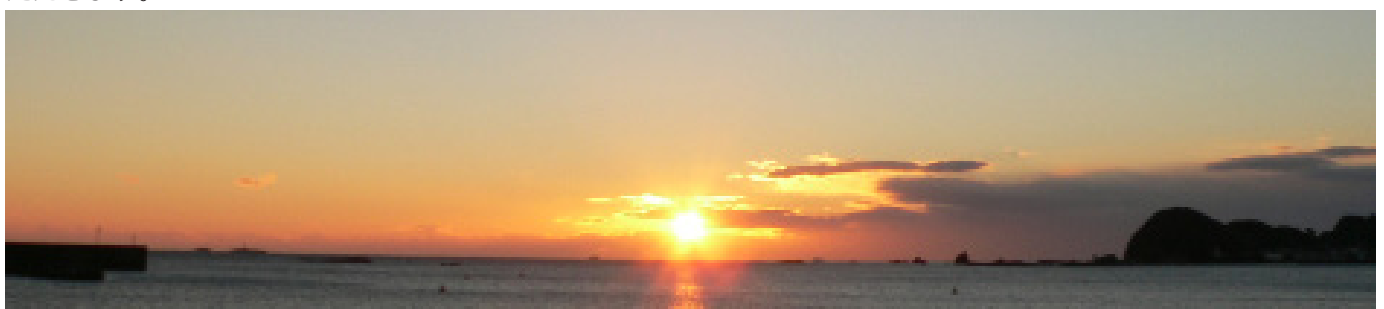
このような中、本年は、森林経営管理制度の運用と森林環境譲与税の譲与が始まってから3年目を迎えます。市町村による森林の集約化は緒に就いたばかりですが、今後一層、森林整備の推進はもとより、森林・林業の担い手育成、さらには木材利用の推進等が期待されるところです。

また、昨年には、森林経営管理制度を後押しするため、意欲と能力のある林業経営者等に、公益的機能を維持しつつ、国有林野の一定の区域において、一定期間・安定的に樹木を採取できる権利の付与を可能とする「樹木採取権制度」が創設されました。今後は、長期に事業量が見通せることで機械導入や地域の雇用進展が期待されます。

近畿中国森林管理局といたしましても、国有林における公益重視の管理経営を実践し、一貫作業システムの推進や、効果的な路網の整備を行うことで、施業の集約化・低コスト化を進めるとともに、隣接する民有林との間に設定した「森林共同施業団地」において、民有林と連携した木材の協調出荷に向けた取組を進めています。

さらに、一貫作業システム、シカ被害対策、センダン等の早生樹、ICT機器を活用した森林調査など、様々な林業技術の普及を目的とした現地検討会を各地で開催することで、地域の林業・木材産業の発展に貢献してまいりますので、より一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、新しい年が皆様にとって健康で実り多い年となりますように御祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。



森林・林業へ先進技術活用！？(*°ロ°) ～森林資源管理のみらいチャレンジ～

by 計画課



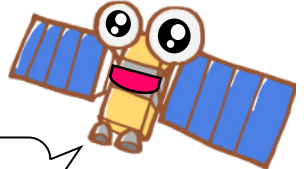
花ちゃん

この前、林業体験に行ったんやけど、山のお仕事ってとっても大変そうやったわ。森林ってめっちゃ広いし、傾斜も急で、少しでも楽になる方法ないかなー。

えっ！誰だれ！？
でも助かった。どんなことを教えてくれるん？



こんにちは、花ちゃん。ボクはリモセン君。
ボクと一緒に勉強してみるかい？



リモセン君

実は山仕事の世界でも先進技術を使った働き方改革が進められているんだよ。まずは一緒に森へ行ってみよう！

地上レーザ測量の活用

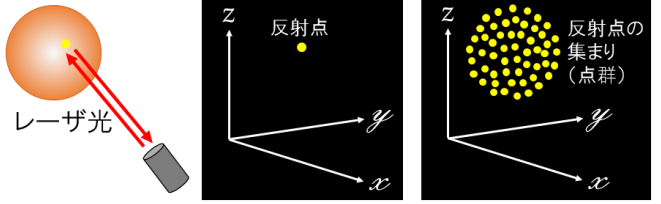


出典元：(株)竹谷商事作成資料

わあすごい！まるで森の中におるみたいや。木一本一本の太さや幹の形まではっきり判るんやね。

花ちゃん、光がとっても速いってこと知ってるよね。
でも、1m進むのに0.0000000033秒（3.3ナノ秒）かかるから、光の一種であるレーザの反射時間を測ることで距離と位置を調べることができるんだよ。レーザ測量というやつだね。
これを利用すれば、離れた場所からでも大きさや形を調べることができるんだ。左の画像は森林の写真のように見えるけど、実はレーザ測量を利用した合成画像なんだよ。

レーザ光をたくさん反射させることで物の大きさや形をデータ化することができる。



↑地上レーザ測量を行っている様子

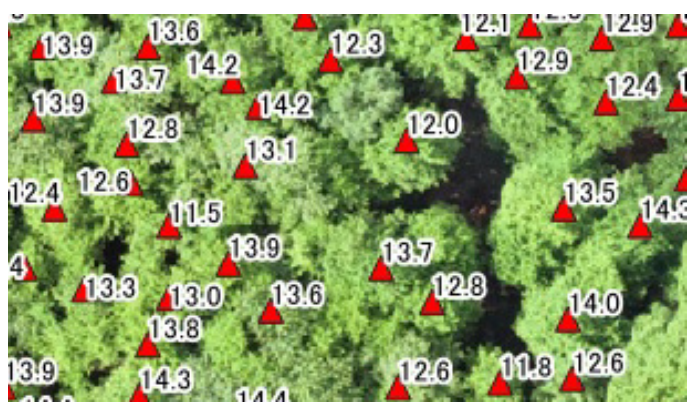
今度は森の上を飛んでみよう！



ドローン画像の活用

これはドローンで森林を撮影した画像だよ。画像を詳しく解析することで、どこに木が生えているか調べられるんだ。
また、DEMと呼ばれる標高データなどを組み合わせれば、木の高さ（樹高）も分かるよ。

赤い三角が木の生えている場所、数字が樹高なんやね。



森林技術・支援センター提供画像

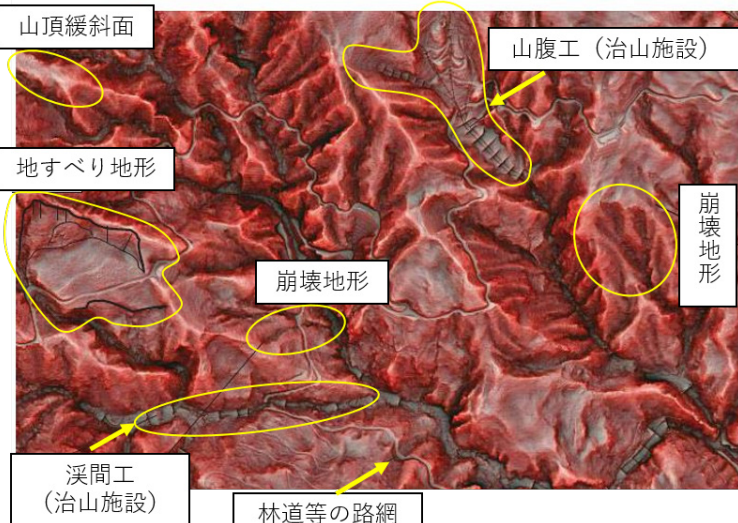
航空レーザ測量の活用



次は、さらに高度2,000mまで上昇～！

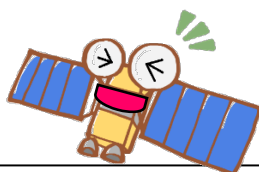


航空機やヘリから地上のレーザ測量を行って、森林の様子を調べることができるんだよ。
 なんと、空から見えてる木だけじゃなくて、森の中まで調べることができるんだ！
 これは、航空レーザ測量のデータを使って山間部の地面の様子を色で表したものだよ。



傾斜が急かどうかのほかにも、林道や危険な場所とかもわかるやん！
 いろんなことに使えそう♪

衛星画像の活用

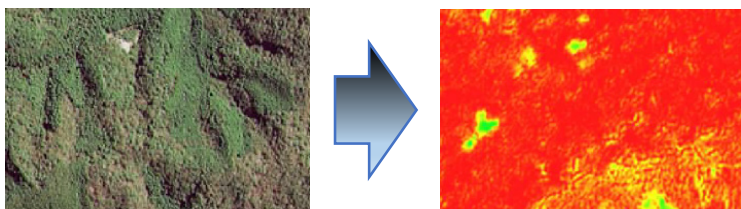


最後は、ボクの得意な宇宙空間。
 なんと！高度は1,000km。

宇宙からだ、日本中の森林を一望することができるよ。例えば、衛星画像を分析することで、山奥で調べに行くのが難しい場所でも森林の様子がどうなっているか確認することができるよ。

宇宙服を着た花ちゃん
 GPSは便利やけど、他にもいろんなことができるんや。
 これで山でお仕事する人が少しでも、楽になればいいね。

目では判らない微妙な色の変化から樹木が病気になるかを判定



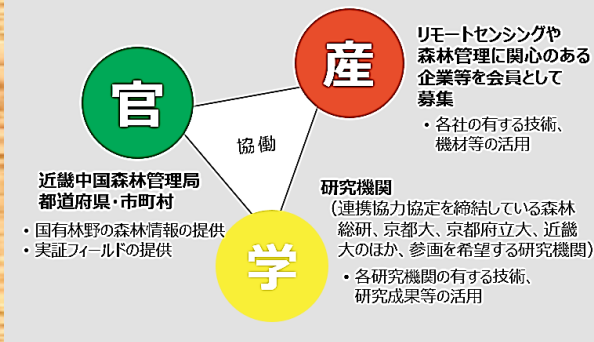
まだまだ可能性はたっくさんあるよ！！

森林資源管理のみらいチャレンジ研究会

近畿中国森林管理局は研究機関とともに9月に新たな研究会を立ち上げたんだ。
 企業や市町村などと連携して、リモートセンシングなどのデジタル情報を使って、いろんなテーマにこれから挑戦していくよ。

いったい、どんな成果がでてくるのか
 すごく楽しみやね！ 乞うご期待！！

研究会における協働のイメージ



ニュース

YMCA 学院高等学校において出前授業を行いました。

【箕面森林ふれあい推進センター】

箕面森林ふれあい推進センターでは、11月11日(水)、YMCA 学院高等学校(大阪市天王寺区)から昨年に引き続き要請を受け、13名の生徒(1年生から3年生)を対象に出前授業を行いました。



【授業をする高山所長】

授業内容は、

- (ア) 林野庁、近畿中国森林管理局はどんなところ
 - (イ) 箕面森林ふれあい推進センターの仕事内容
 - (ウ) 私たちが、この仕事を選んだ理由と感想
- の3部構成で、授業を行いました。



【紙芝居の表紙】



【教育教材の作成の説明】

出前授業では当センターが取り組んでいる「オオクワガタの棲める森づくり」、「森林環境教育プログラム(森の探検隊)の作成と実施」、「シカの被害対策」、「森林環境教育用教材の作成」のほか「この仕事を選んだ理由と感想」などについて、具体的に解り易く説明しました。



【森林の整備の説明】

「生徒達にとっては、実際に行われている森林の整備や森林環境教育のほか、職業として森林に関わる人の話を聞いて良かった」との感想、評価を頂きました。

当センターでは、今回のような貴重な機会を大切にしながら、今後も森林環境教育に積極的に取り組んでいくこととしています。

さらに、具体的な仕事の内容を達成感などを交えて話をしました。約50分間の授業でしたが、生徒たちは真剣な眼差しで聞き入り、担当の先生からは、

おおなんじ 大汝国有林崩壊地対策の種子精選作業を実施しました。

【石川森林管理署】

11月17日(火)、石川県立大学農業土木実験棟において手取川上流 大汝国有林崩壊地対策として用いる種子の精選作業を実施しました。

当日は、石川県立大学の柳井教授をはじめ学生さん、環境省白山自然保護官事務所、石川森林管理署の職員合わせて12名が参加し、今年10月12日(月)に白山市大汝国有林の丸石谷で採取した種子と当署職員が事前に採取した種子と合わせて16種類、約34.4kgの種子を精選しました。

作業にあたり、石川県立大学の柳井教授から作業内容について説明を受け、種子ごとに分かれて精選作業に取りかかりました。



【柳井教授による精選作業の説明】

これまでの経験を踏まえ精選作業に時間のかかるススキにはクシを使用することで作業効率を上げ、マユミなど数量が多いものには人手を増やして対応することで、比較的短時間で作業を終えることができました。作業完了後に精選した種子を計量したところ、約55kgを確保することができました。



【精選作業中】



【精選された種子】



【精選作業中(室内全体)】

今回精選した種子は、来年度の崩壊地対策として種子散布に使用する予定であり、休眠状態を維持するため低温で保管を行います。

山崎高等学校の生徒が国有林見学実習をしました。

【兵庫森林管理署】

11月9日(月)、12日(木)に兵庫県立山崎高等学校森林環境科学科の2年生35名と1年生30名を対象に「国有林見学実習」を行いました。山崎高校では、森林環境を守り、森林を育て、保護していくための基礎的・基本的な知識と技術及び森林を総合的に利用する能力と態度を身に付け、「森林に携わる幅広い担い手の育成」を目標とし、現場見学実習等の体験学習を重視し、地域社会、関連機関等と連携した教育を推進しています。

11月9日は2年生を対象に、^{かわらやま}宍粟市山崎町の河原山国有林において、事業担当職員から生産請負事業の流れ等の説明受け、請負事業体のしろう森林組合が行っている作業を見学しました。生徒達は林業機械(チェーンソー、グラブ、プロセッサ、



【河原山国有林での現地見学(2年生)】



【シカ防護柵の見学(2年生)】

フォワーダ)を駆使して行われる、立木の伐倒から※1山土場^{やまどば}までの※2集運造材作業を真剣な眼差しで見入っていました。午後からは、昨年度の2年生(現3年生)が植付作業を行った箇所へ移動し、1年後の状況について首席森林官から説明を受けました。また、獣害対策として設置している獣害(シカ)防護柵についても学習しました。

11月12日は1年生を対象に、^{おんずい}宍粟市波賀町の音水国有林において、音水スギ・ヒノキ・トチノキ遺伝資源希少個体群保護林を見学しました。かつて音水国有林は、砂鉄の精錬用の薪炭材として広葉樹の伐採が行われました。現在は、スギを主体としたヒノキや広葉樹が混成する天然林が形成され、音水溪谷の奥深い谷間には、樹齢200年以上の天然林が残っていることなどを森林官から説明を受けました。今が見頃の紅葉が美しい森林を散策(森林浴)しながら、片道約3kmの道のりを歩き、保護林では樹齢250年生の※3根上がりしたヒノキなどの巨木を前にして、その大きさに驚きの声が上がりました。貴重な天然資源に触れることができました。



【保護林の説明を聞く(1年生)】



【音水国有林で集合写真(1年生)】

両日ともに生徒は職員の説明に真剣に聞き入り、森林環境の大切さや林業の重要性等を肌で実感していた様子で、有意義な見学実習となりました。国有林見学実習に際して、しろう森林組合、ヒョウカン運輸(株)の皆様には貴重な時間を割いて御協力をいただき、感謝申し上げます。

用語解説

- ※1山土場：作業道または林道を使って引き出してきた木材(丸太)を極積する小さな集積場。
- ※2集運造材作業：伐倒した木を造材(玉切り)して丸太にし、山土場まで運ぶ一連の作業のこと。
- ※3根上がり：風雨に土が削られて地上に現れ出た木の根のことです。俳句や盆栽の用語で「はしりね」とも言われます。

近畿大学生の国有林視察を受け入れました。

【箕面森林ふれあい推進センター、京都大阪森林管理事務所】

箕面森林ふれあい推進センターと京都大阪森林管理事務所では、※近畿大学との連携協定に基づき、11月26日(木)、近畿大から学生27名、院生1名、担当教授3名の視察を受け入れました。京都大阪所から中村所長外2名、センターから高山所長外1名が案内し、大阪府箕面市に所在する箕面国有林での取組について説明を行いました。



【中村所長の挨拶】



【説明をする高山所長】

※林野庁近畿中国森林管理局と近畿大学とは、調査研究や人材育成等に関する連携協定を締結しています。詳しくは近畿中国森林管理局ホームページ掲載の令和元年10月21日プレスリリースをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/press/sidou/191021.html>

中村所長が挨拶を行った後、高山所長から、センターが取り組んでいる「オオクワガタの棲(す)める森づくり」について場所を案内しながら、説明を行いました。

学生からは、①「植栽されたクヌギが順調に成長して利用できる太さになった場合、台場クヌギに仕立てるとの説明でしたが、伐った木はどのように利用されるのですか」、②「林野庁に入るための公務員試験の区分はどのようになるのですか」、③「シカの捕獲事業を実施されているとの説明でしたが、地元住民などからの反対意見はなかったのですか」、④「昆虫ベッドに放虫されたカブトムシはどこ産ですか。」などの質問がありました。

これに対して、①「台場クヌギに仕立てるために伐った木は、この場所ではシイタケ原木に使用して、森の探検隊の活動ポイントとして利用したいと考えています。北摂地域での利用方法は、炭焼きの原材料として利用するのですが、国立公園内であるため、火気の使用が禁止となっていて炭焼き体験の実施予定はありません」、②「国家公務員総合職及び林野庁採用試験の区分の大卒程度(林学)、(土木)、(建築)、(行政)となっています」、③「箕面市やボランティア団体が多数参加している協議会と連携した取組を行っていることから大きな反対意見は聞こえてきていません」、④「昆虫ベッドのカブトムシは、当初は箕面市止々呂美産でしたが、現在は、箕面国有林周辺から自然にカブトムシが集まり繁殖しています」と回答しました。

次に、京都大阪所が平成28年度に皆伐し、公益的な機能を重視した多様な森林整備を実施している場所に移動し、高木性広葉樹の保残、森林の複層林への誘導、コンテナ苗の活用、シカ防護柵の設置状況などについて、京都大阪所及び箕面森林官から説明を行いました。全体で約2時間の視察でしたが、大学生達は真剣な眼差しで聞き入ってくれていました。



【レクリエーションの森としての森林整備の説明】



【シカ防護柵の見学】

最後に、担当の教授から、「現在の森林・林業の概要、技術等は講義などで教えてはいるのですが、やはり現場を見てそれを体験することで学生の身についていくことを実感しています」「環境に興味のある学生にとって、環境保全活動自体が仕事になると受け取り、今の国有林はとても魅力的に映るようです。公務員志望の学生もいることから、とても参考になったかと思います」と感想を頂き、無事に国有林視察受入を終了しました。

おんねやま
「小舟山地域森林整備推進協定に係る現地検討会」を開催しました。

【鳥取森林管理署】

11月25日(水)、小舟山地域森林整備推進協定を締結している若桜町、国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター鳥取水源林事務所、八頭中央森林組合及び鳥取森林管理署並びに鳥取県関係者11名が参加して、現地検討会を実施しました。

この協定は、小舟山地域において共同施業団地を設定し、民有林と国有林が連携して森林整備に取り組むことにより、森林のもつ多面的機能の高度な発揮を促すとともに、地域の森林・林業、木材産業の活性化に寄与することを目的に、平成23年1月に締結されたものです。

当日は、民有林、国有林を通過するように森林組合が開設を計画している路網の計画路線について、実際に現地を踏査しながら計画の妥当性等について議論を行いました。

参加者からは、「谷を渡る場合の施工方法はどのようであるか」、「民有林が国有林内に材の集積場所を設定しようとする場合はどのようにすればよいのか」、「針広混交林に誘導す



【路線予定箇所(谷部)での検討の様子】

る場合、国有林はどのような施業を行っているのか」など、計画路線のみならず様々な質問が多数あり、今後の同団地内の施業の推進を一層促すことができるのではないかと感じました。



【路線予定箇所(山腹)での検討の様子】

当署では今後とも、当地における民有林と連携した森林整備について、積極的に進めていくこととしています。

広島ガス株式会社との分収造林契約「森びらき」に参加しました。

【広島北部森林管理署】

近畿中国森林管理局と広島ガス株式会社の間で今年7月17日に契約した分収造林契約(天皇陛下御即位記念分収造林)の森びらき(式典)が、11月24日(火)、ほしのこやま星居山国有林において「このまち思い じんせき広島ガス神石高原の森」と題して開催され、広島ガス株式会社、神石郡森林組合、近畿中国森林管理局、広島北部森林管理署の関係者17名が参加しました。



【挨拶する松藤社長】



【挨拶する山口局長】

森びらきでは、松藤広島ガス代表取締役社長、山口近畿中国森林管理局長の挨拶の後、参加者全員でヒノキ少花粉コンテナ苗を丁寧に植えました。



【松藤社長による植樹】



【山口局長による植樹】

この分収造林契約は令和71年度までの長期間の森林(もり)づくりですが、森びらきで植えたヒノキが生育し、将来立派な森林になっていくものと期待しています。



【式典後、関係者による記念撮影】

優良木材展示会に出席しました。

【広島北部森林管理署】

広島県木材組合連合会主催の令和2年度優良木材展示会が、11月25日安芸太田町の広島林産中市協同組合木材共販市場において開催され、広島北部森林管理署からも出席しました。

この展示会は、西中国山地における優良材を広く集荷・展示し、木材需要の促進とともに、素材生産者の生産意欲の高揚と生産技術の向上による県内木材産業の活性化を図ることを目的として、毎年開催されています。



【競り売りの様子】

今年度の展示会は、新型コロナウイルス禍の影響を受け、広島県内でも事業自粛が続く状況ですが、県内外の18事業体からスギ、ヒノキ、マツ、モミ、ケヤキなどの優良材を中心に3,160m³の木材が出品・展示されました。広島北部森林管理署からもスギ一般材約450m³を市売委託材として出品しました。市場に出品・展示された優良材は、その後の競り売りにより買い受けられ、高値がつく出品材もあり、活気のある展示会となりました。



【林野庁長官賞のヒノキ】



【近畿中国森林管理局賞のスギ】

アサヒの森「植樹記念セレモニー」に参加しました。

【広島北部森林管理署】

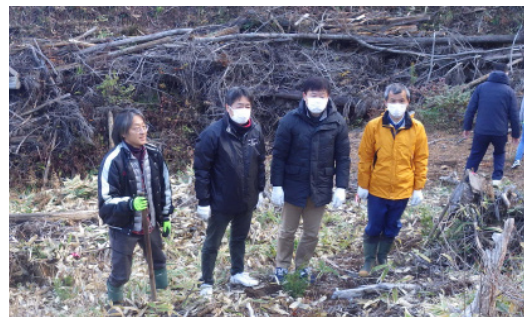


【多田署長の挨拶】

近畿中国森林管理局とアサヒグループホールディングス(株)との間で今年6月25日に契約した分収造林契約(天皇陛下御即位記念分収造林)の植樹記念セレモニーが、11月30日(月)、戸ノ丸山国有林において開催され、アサヒビール(株)広島支社、アサヒの森環境保全事務所、広島北部森林管理署の関係者10名が参加しました。セレモニーでは、東田アサヒビール(株)広島支社社長、広島北部森林管理署長の挨拶の後、参加者でヒノキ苗を丁寧に植えました。



【植樹する様子】



【植樹後の写真、東田支社長(右から二人目)】

アサヒグループホールディングスは、全国8箇所のビール工場で使用する水資源量を森林(もり)づくりを通じて100%還元する「ウォーターニュートラル」の目標を掲げ、その活動の一環として、国有林の分収造林制度を活用したものです。アサヒグループホールディングスは、今回の分収造林契約などを含め、95%の水資源還元が達成されています。

広島北部森林管理署は、分収造林事業や森林(森)づくり活動等を通じた企業の社会貢献活動を引き続き支援していきます。

花 草 木

【サザンカ】

椿（つばき）科。

学名 *Camellia sasanqua* *Camellia*:ツバキ（カメリア）属
sasanqua:サザンカ

*Camellia*は、17世紀のチェコスロバキアの宣教師「Kamellカメル」さんの名前にちなみます。

原産地は日本で江戸時代に長崎の出島のオランダ商館に来ていた医師がヨーロッパに持ち帰り西欧で広まりました。

樹皮は灰褐色で表面は平滑で、葉は長さ2-5センチメートル程度の鋸歯のある楕円形で、互生しています。

10月中旬から、翌年の2月中旬にかけての寒い時期に、花弁の花を咲かせ平開して咲き、散る際には花弁がバラバラになって散っていきます。よく似た花のツバキは平たく開いて咲くことがなく、散る際は花がまるごとポトリと落ち区別がつきます。また花の咲く時期はツバキの方が12月からと遅く咲き4月頃まで咲いています。

ツバキ科の植物は熱帯から亜熱帯に自生しており、ツバキ、サザンカ、チャは温帯に適応した珍しい種であり、日本は自生地としては北限になります。

また、ツバキ科の木につき、毒針毛を持つ害虫として、ツバキ科の葉を食べるチャドクガが知られています。この毒蛾の卵塊、幼虫、繭、成虫には毒針毛があり、触れると皮膚炎を発生させます。直接触れなくても、木の下を通ったり風下にいるだけでも毒針毛に触れ、被害にあうことがあるのでこれらの木に近づくときは注意が必要です。

サザンカの花言葉は「困難に打ち勝つ、ひたむきさ」です。



【サザンカの花】

第17回箕面の山大掃除大作戦に参加しました。

【箕面森林ふれあい推進センター】

12月5日（土）、箕面の山をきれいにしてその素晴らしさを世間に伝える活動をしている箕面の山パトロール隊（以下「パトロール隊」という。）が主催した第17回箕面の山大掃除大作戦に、箕面森林ふれあい推進センター職員2名が参加しました。



【掃除前の挨拶と説明】

今回は、2箇所に分かれての取組で、当センターはその内の1箇所である才ガ原林道沿い斜面箇所（箕面市）に参加しました。

午前11時に、ゴミ回収場所現地でパトロール隊13名とサポーター31名に合流し、不法投棄されたゴミの回収を行いました。



【清掃活動の様子】

まず始めに、パトロール隊リーダーから、作業を行う前の安全について、「危険なゴミは拾わず、隊員の指示に従ってください」など8項目の注意事項について説明がありました。その後、山の斜面でゴミを回収し袋に詰める3班と、ゴミを詰めた袋を道まで運び上げる班に分かれて作業に取りかかりました。総勢46名が手際よく作業を行った

ことから僅か45分で、予定していた箇所での空き缶、プラスチックの容器、古タイヤなど44袋のゴミを回収することができました。

主催されたパトロール隊の御担当者に感謝申し上げるとともに、参加された皆様、大変お疲れ様でした。

なお、この箕面の山大掃除大作戦は、例年12月第1土曜日に開催されており、当センターも引き続き協力していきます。



【今回の清掃で集められたゴミ】

お知らせ

森林のギャラリー(局庁舎1階)

【技術普及課】

○現在の展示は12月25日(金)までです。次の展示は来年の1月6日からになります。展示内容は下記の局ホームページで確認していただけま



す。
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>

【三重森林管理署】

○大杉谷国有林からの手紙(48通目)を発行しています。



<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/mie/oosugitegami.html>



【箕面森林ふれあいセンター】

○こだま通信114号を発行しました。



https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/booklet/kodamatushin.html

【広島北部森林管理署】

○かわら版「ひろほく通信」第20号を発行しました。



http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hirosimahokubu/information/hirohoku_tusin/hirohoku_tusin.html

我が署のスタッフ 滋賀森林管理署

西田一紀 (にしだ かずき) (平成21年度採用)

【現在取り組んでいる仕事は?】

現在、業務グループに所属しており、それぞれの地域にあった森林づくりを考える森林計画と、事業を発注し伐った木を販売する資源活用の仕事を主に担当しています。どちらの仕事も机上だけでは行えず、自らの目で現地を見て判断することが多々あるため責任も大きいですが、同時にやりがいも大きい仕事です。

【職場の雰囲気は?】

林業という職人気質なイメージがあるかもしれませんが、当署には若手職員や女性職員も多く、穏やかな雰囲気です。また、各種休暇やフレックスタイム制度の活用にも理解がある職場で、ONとOFFがしっかりと切り替えられるメリハリのある環境です。

【林野庁の魅力は?】

自然を相手にする仕事なので思い通りにいかないことも多々ありますが、季節や場所によって様々な顔を見せる森林と向き合う仕事が国有林野で働くことの面白さです。また、色々な方の意見を聞きながら、「こんな森林づくりをしたい」という自分たちの思いを込めて計画を作り、その計画を実行して目に見える形にするまでの過程全てに携われることも大きな魅力です。



【測量作業中】

森林官等紹介

せきがね

関金森林事務所（鳥取森林管理署）

森林官 林 善典（はやし よしのり）

関金事務所は中国地方の鳥取県中南部に位置する、倉吉市関金町に所在し、管轄する区域は倉吉市（旧関金町）のみで約3,110haの国有林を管理しています。管理する国有林の多くは岡山県境に位置し、一部の大山山系の一角をなす団地とその他の独立した国有林でなっています。当該国有林を形成する林相において、人工林は主にスギであり、比較的標高の高い区域まで造林されています。

管理している国有林の特徴として急峻な地形が多く、冬期の積雪による雪崩痕も春には散見されます。また、開発計画もないことから管理面では比較的平穏であるところが挙げられます。

管内の実施事業としては、近年カシナガキクイムシによるナラ枯れ被害が大山国有林で発生しており、このカシナガキクイムシ防除対策に重きを置き、平成25年度から継続して取り組んでいます。

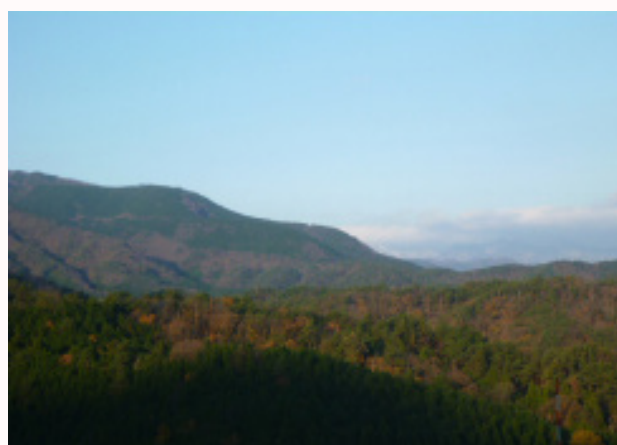
また、これまでは鳥取県東部から中西部に向かうにつれて、シカの生息密度が低くなるのですが、当事務所管内でも近年巡視中に見かけることが多くなり、シカの生息頭数の増加が推測されます。このことから、シカの生息状況を調べるために自動撮影カメラを設置し、生息の基礎データとなるものを収集し、今後の森林保全対策や森林整備事業に活用していきたいと考えています。

さらに、国有林の下流域には淡水魚の養魚場が多数経営されており、主な谷ごとにもワサビ田の貸付地が広がっていることから、降雨後や伐採後に濁流が生じないか気を遣っています。

管内の国有林には、今後、収穫期を迎える箇所が多数あります。生産造林事業等の事業実施にあたって、主間伐を行う際に森林官として、地元住民との疎通を密にし、お互い協力的な関係を築くことがトラブルの回避のため大事になると考えています。



（森林事務所前にて）



やまぐちおく
【山口奥国有林】



にしがも
【西鴨国有林】

シリーズ 『国有林 最前線!』

経理課の業務について～入札から庁舎管理まで幅広く～

経理課

経理課では、物品調達の入札、物品管理、庁舎施設の管理及び修繕、契約等に係る支払い、立木売払代金、貸付料等の徴収など会計経理全般の幅広い業務を行っており、特に、支払と徴収については、各署等で契約した案件の支払及び徴収事務を全て経理課で対応することから、毎日数多くの書類について、会計法令に適用した契約内容、請求や支払に間違いがないかの確認を行い、適正な会計経理事務に努めています。

また、建設工事等の競争参加資格の審査などの業務のほか、入札の適正な執行を促すために管内の森林管理署等での一般競争入札及び随意契約で契約締結した物件を一覧表形式で毎月ホームページに契約情報として公表しています。特に、公共工事に係る入札については、契約締結後、速やかな公表に努めています。

近畿中国森林管理局の庁舎は、平成6年に新築し、平成23年に耐震補強工事を実施している地上4階地下1階建てで内装材に木材を多用した庁舎となっています。加えて、昨年度から本年度にかけ使用調整に伴う改修工事を実施し、昨年10月に改修工事が完了し、本年2月から環境省近畿地方環境事務所が入居することに伴い、現在、各種準備作業を行っています。

庁舎は、築26年となりましたが、今も木のぬくもりを感じる庁舎となっています。今後も、大切に長く使い続けるため、施設点検等を行い、国民に安全で親しみのある庁舎の管理に努めていきます。



【改修工事後（局庁舎2階事務室）】